

挨拶状

2021. 4. 19

今回で10回目の転勤となった。ということは、転勤の挨拶状を10回出したことになる。この葉書の文面が難しい。若い頃は考えることができず、言葉が浮かんでこなかった。仕方なく、知り合いの方からいただいた挨拶状の文面で勉強した。

こここのところは、歳を重ねてきたせいも、言葉が出てくるようになった。今回も苦勞せずに文面ができあがった。慣れてきたというよりは、思いが強くなってきたような気がする。それが言葉として出てきていると自己分析した。

今回も挨拶状を送ったところ、すぐに反応があった。もう十年以上も前になるが、南会津の中学校に新任教頭として赴任したことがある。その学校でお世話になった私よりも年下の先生が、現在、コンビで校長と教頭を務めている中学校がある。

その二人が、校長室で仲良く写真を撮り、メッセージ付きで私のスマホに送ってくれたのである。二人ともいい人であり、いい教師である。きっと素敵な学校経営をしているに違いない。南会津最強のコンビではないかと思う。

二人の写真を見ていたら、何だか涙が浮かんできてしまった。不思議である。私が中学校に勤務するのは、この二人のお世話になった学校以来なのである。私の中学校での直近の経験という、教頭を務めたこの学校でのこととなる。この学校も統合となり今ではなくなってしまった。学校はなくなっても思い出はいつまでも残る。

教頭を務めている先生が、新任教頭研修会で県教育センターにきたことがあった。私はちょうどそのとき県教育センターに勤務しており、講義を一コマ担当したことがあった。その中で、新任の教頭先生方にいくつかの言葉をプレゼントした。その先生は、そのときの資料を大切に持っているそうである。「教頭は すぐやる 必ずやる できるまでやる を念頭に頑張っていきます」とメッセージにあった。

あの頃、私の教頭時代は純粋に必死だった。教頭職の責任の重さを痛感し、自分なりに努力したつもりではあった。だが、思い返してみると、大したことはなかったと思い知らされる。自分では頑張っていたつもりである。しかし、先生方や地域の方々に支えていただいていたということが後でわかる。何でも大切なことは後からわかるものである。

これから、私のように今回、転勤となった方々から挨拶状が届くであろう。どんな文面であろうか。そこにはきっと、その方の思いが入っていることと思う。

今回の挨拶状にも写真を入れてみた。野田中学校の校舎全景を東側から見ると、うまい具合に吾妻連峰が入る。ちょうど校舎の上に吾妻の雪うさぎがくるのである。空は快晴の青空である。これはいいとばかりにカメラに収め、葉書に入れた。すると、雪うさぎは、もはやうさぎとは判別できない状態になっていた。残念。

最強コンビが運営する学校も私が勤務する野田中学校も大型連休を迎える、ここ2週間が大切な期間となってくる。地域は違えど、ともに生徒のため、地域のために努力したいものである。南会津は、これから桜の季節を迎える。きっときれいだらう。